

## 国境なき教師団 活動日誌

カンボジアの小学校教員養成校で教育アドバイザーとして活動する「国境なき教師団」。教員養成校の学生に直接指導するのではなく、教員養成校のカンボジア人教官が教師の卵である学生たちに質の高い指導ができるよう、サポートしています。前号に続き、スバイリエン州小学校教員養成校で活動している佐藤厚一先生のレポートです。

### 住んでみて分かったこと、不思議なこと

その国に実際に住んでみないと分からないこと、へーと驚くこと、不思議なことはたくさんある。今回 2 つの観点からカンボジアを述べてみたい。

#### 天体編

カンボジアは北緯 11 度に位置し、赤道ほどではないが、日の出の太陽は東側からほぼ垂直に昇り、日没は西側に垂直に沈む。日本で見る太陽は夏至に一番高く上がり (78 度)、冬至に最も低くなり、1 年かけこの間を往復している。

カンボジアでは南を日周していた太陽が、4 月中旬に天頂 (90 度) に昇り、通過し北に向かい、その後 U ターンし、8 月中旬再び天頂を通過し南へ向かう動きをする。天頂を 1 年に 2 回通過している。また、月も空高く昇り満ち欠けを繰り返し、見上げるようにして眺める。満月に見る月は日本では見たことがない模様をしている。月を眺める角度が変わると違った模様に見えるためである。

以前、エチオピアでボランティア活動をしていた時も月の模様は違って見えた。

今年、1 月 31 日に東アジア一円で皆既月食が見られた。プノンペンでもこの情報は多くの人を知っており、外に出てテーブルを囲み、実際に月が欠けていく様を見て、家族や仲間とビール缶片手に食事をし、お喋りをしたり電話でこの状況を伝えたりする姿が見られ天体現象を生活の中に上手に取り込んでいた。

#### 気象編

雨季の大陸育ちの雷はさすがにスケールが大きい。雷鳴は大きく轟き、稲妻はたく動きはダイナミックである。ここは大陸で平坦な大地。強い日差しのもとで発生した積乱雲が、たとえ遠くにあっても雷鳴がなくても、光をあらちこちで発し躍動する稲妻をよく目にする。自然への畏敬の念をあらためて感じずにはいられない。



また、雨季のスコールは強烈に容赦なくたたきつけるように降り、生き物の命を蘇らせ元気づける。コオロギやかえる、蟬が一斉に鳴き始め、池ではおたまじゃくしが生まれる。日本でいう生き物による季節感はこの国ではまるで当てはまらない。

佐藤厚一/教育アドバイザー  
スバイリエン小学校教員養成校・理科担当  
プノンペン小学校教員養成校・理科担当

発行：公益財団法人 CIESF

〒107-0062  
東京都港区南青山 1-10-4  
南青山 NK ビル 6F



#### 編集後記

先輩の意志を引き継ぎ、2016 年 10 月から約 2 年間書かせていただいたニュースレターですが、この 50 号をもって卒業することとなりました。シーセフを応援して下さる方へ、カンボジアの現状をお伝えできる機会をいただけて感謝しています。お読みいただきありがとうございます。ニュースレターはパワーアップして続きますので、今後ともよろしくお祈りします。ぜひ、カンボジアにお越しください。(SH)

\*このニュースレターは株式会社オピカ様のご支援で印刷しました。

# CIESF NEWS LETTER

シーセフ ニュースレター 2018 July

# 第 50 号

公益財団法人 CIESF (シーセフ) は、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした開発途上国の発展を支援します。

## ニュースレターをお読みいただきありがとうございます



いつもシーセフを応援していただき、ありがとうございます。ご支援くださる方やシーセフに関心をお寄せいただいている方とコミュニケーションをとりたいと思い、創刊したニュースレター。お読みいただく皆さまのおかげで、「創刊 50 号」を迎えることができました。今後も、カンボジアの現状やシーセフの活動について、発信していきますので、ぜひお読みください。「こんなことが知りたい！こんな記事を読みたい！」などご意見がありましたら、日本事務局までご連絡ください。

シーセフの支援活動は、応援して下さる皆さまのお力で成り立っております。今後とも、シーセフをよろしくお祈りいたします。



## 「国境なき教師団」視察を行いました

2010 年から 2017 年まで日本人教育アドバイザーを派遣していたプレイベン州小学校教員養成校に視察にいつてきました。首都プノンペン市から車で約 3 時間ほどかかるプレイベン州は、日本の ODA(政府開発援助)でつくられた大きな橋「つばき橋」がある州で有名です。広々とした土地は、緑で埋め尽くされた田んぼが広がり、水牛が多くいます。1 年ぶりに訪れた小学校教員養成校は、校舎増築のため校庭には多くの資材と雨季による水溜りで歩きにくい状態でした。ここの教員養成校は、他の地域の養成校よりも学生が多く、現在は 1 年生と 2 年生の 2 学年で 230 名ほどいます。算数と理科のカンボジア人教官も以前より若い人が増えていました。



「現在、なにか問題がありますか？」という質問に、「新しいカリキュラムになり、教える内容も難しくなった。前のように日本人教育アドバイザーに来てもらい、指導法を教えてほしい。」という声がありました。今までカンボジアで主流となっていた、「教科書どおりに教える」だけの授業法から、「学生たちにわかりやすく工夫して教えよう」という考えに変わってきたことがわかりました。理科室も、日本人教育アドバイザーがいたときのように、教材棚など綺麗に整理されており、アドバイザーがいない中でも活動が継続していることを嬉しく思いました。

「国境なき教師団」の活動は、すぐに結果のでるものではなく、多くの時間が必要です。ですが、カンボジアの学校教育の質が高くなるように、今後も現地のニーズに合わせて活動していきます。



## スパイリエン大学日本語コース卒業後の様子 Part.2



シーセフは 2015 年から国立スパイリエン大学と協力して、同大学に日本語コースを設置し、運営をしています。1 期生の学生だった 7 名が、スパイリエン州バベット地区の日系企業に就職しました。それぞれの就職先で活躍している 3 人の様子を見てきました。

今月号では、MURATA (CAMBODIA) CO., LTD. さんに就職したマニットさんを紹介します。



1 期生のマニットさん (女性) 1 名が働いています。

同社はベトナムのホーチミンに工場を構える企業ですが、カンボジアのバベット地区にも新たに工場とオフィスを建設中です。現在は、仮の事業所で縫製企業へと卸すプライスタグなどの在庫管理やオーダー生産をしています。工場での実際の作業工程を覚えるため、マニットさんも時々ベトナムに出張しています。

マニットさんは、笑顔いっぱいに次のように話してくれました。「今の私があるのは、スパイリエン大学の日本語コースで勉強したからです。日本語を勉強しなければ、日本の会社に就職することはできませんでした。新しい体験をたくさんさせていただいています。これからもっと仕事を覚えて活躍できる社員になりたいです。」

同社代表の山尾晃司さんは、マニットさんについて「日本語についてはかなり上手で、研修も終わり実際の仕事をしてもらっています。ビジネスマナーであったり、社会人になる上での基礎知識を大学生のうちから少しずつも教えていただけると、就職してスムーズに仕事がしやすくなりますね。」と話してくださいました。スパイリエン大学日本語コースが取り入れているビジネスマナーに関する研修を評価してくださっていました。

今回訪問できたのは 2 社だけですが、修了生たちは、昨年 9 月におくりだしたときより、日本語が上手になっていることに驚きました。大学では、知識として学習した日本語かもしれませんが、就職して、実践の場で活かすことで上達をしたことがわかりました。そこには彼らの努力があります。

「仕事をしながら日本語の勉強を続けていますか？」という質問には、3 人とも「はい」とはっきりとした返事をくれました。

3 月後半から、2 期生は日系企業でのインターンシップがスタートしました。先輩たちが活躍している姿を見て、2 期生も後に続いてほしいと願っています。先輩を超えてがんばろう！というモチベーションになれば尚うれしいですね。

## シーセフ リーダーズ アカデミー 成長日記

カンボジアで初めて日本のカリキュラムを取り入れた幼小中一貫校 CIESF Leaders Academy の様子をお届けします。



あじさい組 (4 歳児) では、昨日水に浸しておいた緑豆 (もやし) の観察です。よく観察してみると、種から白いものが…。そう、たった 1 日で発根していたのです。子どもたちは興味津々。水をあげたり、気づいたことを発表したりしました。いつになったら食べられるかなあ…。明日の観察が楽しみです。



ひまわり組 (3 歳児) では、ピンセットを使ってものをつかんだり、形どおりにゴムをはめ込んだり、手先を使ったいろいろな活動に取り組んでいます。みんなとても集中していますね。また、園庭での自由遊びでは、友だちと仲よく遊んだり、自分でやってみたいことにチャレンジしたりする姿も見られました。そして今日は、ひまわりの種まきもしました。順番に種をまいた後は、やさしく土をかぶせ、水もやりました。さて、いつ芽が出てくるでしょう。大切に育てたいですね。



## ご支援ありがとうございます(5 月)

ありがとう  
＼ オークンチュラン ／



CIESF の活動は、多くのサポーターの方々に支えられています。法人サポーターの皆さま (プラチナ・ゴールド・シルバー・ブロンズサポーター他)・個人サポーターの皆さま (スペシャル・個人サポーター・「国境なき教師団」応援団他) には、心より感謝申し上げます。5 月にご寄付を頂戴した方々を下記にご紹介させていただきます (5/1~5/31)。

### 5 月

- 法人サポーター(プラチナ):株式会社フォーキャスト/株式会社フォーバルテレコム/株式会社フォーバル・リアルストレート
- 法人サポーター(ゴールド):株式会社ケイズハウス/株式会社サンボレ/サナダ精工株式会社/株式会社 nokoso/株式会社 LIFE/株式会社セキュリティーフォーユー
- 法人サポーター(シルバー):株式会社世真
- 法人サポーター(ブロンズ):株式会社 雷人
- 支援企画寄付:永伸商事株式会社/株式会社 M's-A/有限会社アップライジング/リネットジャパングループ株式会社/株式会社オピカ
- 個人サポーター:天谷 幸子/鈴木 準一/武子 太郎

※以上敬称略

## 日本の高校生と交流しました!

岐阜県立岐阜工業高校の学生さんとカンボジア事務局のスタッフでビデオ電話を使い、カメラ越しで交流を行いました。学生さんたちが、覚えてくれたクメール語「チョムリアップスオ。(はじめまして)」と挨拶してくださり、緊張していたカンボジア人スタッフも笑顔で始めることができました。カンボジアの水の浄化システムや電気の配給などのインフラについてや、カンボジアの美味しい食べ物や若者の中での流行についてなど、様々なジャンルの質問をしてくれました。



最後には、学生が今開発している水の浄化装置を披露してくださり、スタッフたちは、カンボジアの高校では、できないことなので「すごいですね!」と感動していました。

カンボジア人スタッフは、日本の高校生と交流するのは初めてだったので、とても貴重な経験です。今後も、国境を越えた交流をおこなっていきたいと思います。岐阜工業高校のみなさん、ありがとうございました。